

第18回適塾講座

—近世の大阪における商家・商取引・金融—

【10/10(金)、10/21(火)、10/29(水) 18:30~@中之島センター】

❖ 概要

大阪大学適塾記念センターは、10月10日(金)、10月21日(火)、10月29日(水)に第18回適塾講座を開催します。本講座は、緒方洪庵や適塾の塾生らの学問に対する真摯な姿勢を後の時代に継承するべく、2011年度から公開講座として開講しています。今回は、近年新たな視点からの研究が活発に行われている、近世大阪の商家・商取引・金融について、現在旺盛に研究を進めている3名の研究者が、それぞれの切り口で平明かつアカデミックに解説します。

つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。

❖ 「第18回適塾講座—近世の大阪における商家・商取引・金融—」概要

※詳細はp2参照

【日時】10月10日(金)、10月21日(火)、10月29日(水) 18:30 ~ 20:00

【場所】大阪大学中之島センター 7階セミナー室

【対象者】どなたでも

【講演者】高木久史(大阪経済大学教授)

高槻泰郎(神戸大学経済経営研究所准教授)

鈴木敦子(大阪大学大学院経済学研究科助手)

【定員】各回50名

※全3回受講された方には、修了証書を交付いたします。

【受講料】一般(非会員) 各回 1,600円 適塾記念会会員 各回 1,000円

大阪大学学生 無料(要学生証提示)

【申込方法】下記URLまたは右の二次元コードからオンラインでお申し込みください。

<https://open-univ.osaka-u.ac.jp/custom/app/Views/event/detail.php?id=241>

または、下記①~⑥を明記のうえp2記載の問い合わせ先へ e-mail、fax または郵送でお申込みいただき、受講日の1週間前までに下記銀行口座へ、受講者ご本人のお名前で受講料をお振込み願います(振込手数料は受講者負担とさせていただきます)。

①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥受講を希望する講座

口座名 三井住友銀行 豊中支店 普通預金 7485209

口座名義 オオサカダイガクテキジユク 大阪大学適塾

※大阪大学学生は、上記①~⑥および学籍番号を明記し、e-mailでお申込みください。



❖ 講座内容

第1講座(10/10)「日本最初期の紙幣、大坂にあらわる」

大阪経済大学教授 高木 久史

日本最初期の紙幣のひとつは、徳川幕府ができてすぐのころの大坂で登場しました。そこにいたるまでにはどのような歴史があったのでしょうか？紙と商品を交換する現象の淵源を平安時代までさかのぼり、その後、室町・戦国時代を通じて現在の紙幣に近い文書ができていくまでをたどります。

【略歴】

1973 年大阪府生まれ。神戸大学博士(学術)。専門は前近代日本経済史。おもな著書に『通貨の日本史』(中央公論新社、2016 年)。

**第2講座(10/21)「江戸時代大坂の富一大名と商家の関係に着目して一」**

神戸大学経済経営研究所准教授 高槻 泰郎

本講座では、江戸時代の大坂商人が富を蓄積した背景について、大坂に年貢米や特産物を廻送してきた諸大名と、彼らに資金を貸与した商家との関係から考えます。

【略歴】

1979 年東京都生まれ。専門は日本経済史。著書に『近世米市場の形成と展開—幕府司法と堂島米会所の発展—』、『大坂堂島米市場—江戸幕府 VS 市場経済—』、『豪商の金融史—廣岡家文書から解き明かす金融イノベーション—』。

**第3講座(10/29)「三木佐助の回顧談から振りかえる近世日本の東西交易」**

大阪大学大学院経済学研究科助手 鈴木 敦子

三木楽器の礎を築いた三木佐助をご存じでしょうか。回顧談『玉淵叢話』には幕末の大坂と江戸との取引や貨幣の扱われ方が描かれています。東の金遣い・西の銀遣いといわれた東西で、金と銀はいかに交錯していたのか。佐助の軽妙な語り口を手がかりに当時の経済を見つめ直してみます。

【略歴】

専門は経済史・経営史。筑波大学大学院地域研究研究科修了。東京大学大学院総合文化研究科修了。著書に『近江日野の歴史7』。経営史学会・出版文化社賞(本賞)受賞。



❖ 適塾と大阪大学

1838 年(天保 8 年)に緒方洪庵が開いた蘭学塾の適塾は、日本の近代化に貢献する人材を多数輩出しました。1942 年(昭和17年)に国に寄付され、洪庵の子息や適塾関係者らによって明治初期に設立された大阪仮病院や大阪医学校を源流とする大阪帝国大学(当時)へ移管されて以来、適塾の管理・保全に本学が携わってきました。また、本学および1952 年(昭和27年)に設立された適塾記念会は、協同して緒方洪庵と適塾の事跡を調査・研究し、その歴史的重要性を社会に発信してまいりました。両者は、適塾の建物の保全につとめるとともに、緒方家や塾生の子孫の方々をはじめとする多くの方から洪庵や塾生ゆかりの資料の寄贈を受け、その適切な保存と管理にもつとめてきました。

2011年(平成23)、大阪大学に適塾記念センターが設立され、適塾記念会は同センター内に置かれることになりました。本学はこれらの活動を継承するとともに、さらなる進展を目指しています。

❖ **適塾記念センターの主な取り組み・行事**

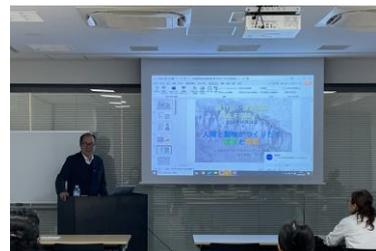
適塾記念センターは、「適塾関係資料画像データベース」によるウェブ上での資料公開、並びに「適塾特別展示」、「適塾講座」等の行事を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開しています！



適塾関係資料画像データベース



適塾特別展示



適塾講座（令和6年の様子）

❖ **アクセス**



■ **電車によるアクセス**

- ・阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- ・JR 東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- ・JR 環状線 福島駅より 徒歩約12分
- ・京阪中之島線 渡辺橋駅または中之島駅より 徒歩約5分
- ・大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分
- ・大阪メトロ御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

■ **バスによるアクセス**

- ・大阪シティバス 大阪駅前バスターミナルより
(53系統)→中之島四丁目下車 すぐ
(75系統)→田蓑橋下車 徒歩2分